

麻生区区民会議 第6回環境部会

(議事要旨)

1. 日 時 平成21年6月11日(木)午前10時から午前11時55分まで
2. 場 所 麻生区役所第6会議室
3. 出席者 天野委員、伊藤委員、碓井委員、梶委員、神本委員、山崎委員、渡邊委員
(事務局)荻原企画課長、重森主査、稲葉
4. 傍聴者 2人

まず、事務局から、神本委員からの提案を受けた「(仮称)麻生区エコカルテ」について素案説明を行った。その後、議事について、審議を行った。

1 調査審議課題について

各議題についての主な意見は、次のとおり。

【エコカルテについて】

- ・ 小学生がターゲットならば、複雑ではなくわかりやすい情報にしないとけない。
- ・ 環境学習をやっているのは小学5年生。大人にも使えるように小学校5、6年生～中学生向けにしてはどうか。
- ・ 分野別に情報を集めるみたいだが、「みどり」と言っても公園、農地、里山など幅広い。農地の緑を守るには増え続ける竹をどうするのか、という問題もある。
- ・ 単にデータを集めるだけでなく、将来の指針も含めてはどうか。
- ・ エコカルテのイメージは現状や移り変わりを理解するための基礎データ。総合学習などで環境問題を考える材料に使い、答えは子どもたちが考える、という位置づけにしたい。
- ・ 学校にとって使えるデータかどうかは随時確認が必要。
- ・ 作ったエコカルテは誰が解読してどう活用していくのかイメージが湧かない。小学生一人ずつが持つのか、先生ごとに渡すのか。
- ・ 小学校の総合学習で調べものをする際に利用できるようなデータ集にしてはどうか。生ごみのことは家庭科でも学ぶ。理科にも使える。CD-ROM形式で先生が持つようにすれば、必要なときに役立てられる。
- ・ 各分野のデータのほかに、それぞれのジャンルで活躍するトップランナー(新聞紙をバッグにして持ち歩いている人など)の取組を入れてはどうか。
- ・ 緑に関する航空写真を時系列に入れたら地域への愛着につながるのでは。
- ・ 焦点がぼけない様に、カルテに入れるジャンルは絞ったほうがいい。
- ・ 今回、エコカルテ作成業務を業者に委託しており、本日出たすべての意見を盛り込むと予算が足りなくなる。今後、部会の中で必要な情報を選別する必要がある。また、随時、小学校とも打合せを行っていかないとけない。

今回の議論を踏まえ、7月10日までに各委員が持っている情報や「エコカルテ」の希望イメージを集め、次回の部会で検討することとした。

つぎに、事務局から、前回伊藤部会長から提案された「環境フォーラム」について概要説明を行った。その後、議事について、審議を行った。

【環境フォーラムについて】

- ・ どういう規模でやるのが適当か。市民館会議室か区役所か。
- ・ 町会の廃棄物減量指導員に呼びかけてはどうか。
- ・ 廃棄物減量指導員は呼びかけをしてもあまり来ないだろう。
- ・ 明治大学にも声を掛けてみてはどうか。
- ・ コーディネーターは後藤教授ではなく、これまでの経緯や環境フォーラムの全体像がわかっている西谷委員長が適当ではないか。
- ・ 区民会議ニュースを使って事前広報したほうがいい。
- ・ 来場者へのお土産として「みどりくん」を配ってはどうか。

「環境フォーラム」は、11月29日(日)13時~16時に区役所第1・2会議室で行うこととなった。コーディネーターは西谷委員長に決まった。

【その他】

6月19日に10時から、環境部会のメンバーと麻生区食生活改善推進員が懇談会を行うこととなった。

2 その他

今回は、7月30日(木)午前10時から区役所第5会議室で行うこととなった。